

## はじめに

各学校におかれましては日ごろ、伝統と地域特性を活かして時代の要請をも勘案しつつ、学校運営、授業展開等に工夫を重ねておられることと存じます。本校は教育学部附属中学校として、

1. 教育学部学生の教育実習を行う
2. 教育研究を行う

を任務として、教員養成に深く関わることを特色としています。また最近は学校支援地域本部事業など本校をとりまく諸方面との関係に目を向けてきました。

昨年度までの3年間「豊かな学びで個を育む」という研究主題をかかげて研究に取り組み、基礎的・基本的な学力向上に成果を上げましたが、「思考力・判断力・表現力等の育成」の面で、言語の活用や他者との伝え合いを大切にする授業という課題も明らかにされてきました。

本年度からは従来の成果と新たな課題に立脚して、

「言語活動の充実と道德教育の推進」～新学習指導要領の実践に向けて～を研究主題としました。

言語活動と道德教育の二つの柱で、「めざす学校像」「めざす生徒像」を踏まえつつ、

1. 言語活動については「教科ごとの研究の視点」を設けて研究し
2. 道德教育については授業の「中心発問」の工夫を研究するとともに、道德性を育てる体験活動を志向しました。

また、研究主題と併せて、二年前から「協同学習」、昨年度から各教科にわたる「ICT機器活用」も行なってきました。

これらについて、6月に開催した研究協議会や公開研究会で取り組みや成果を発表してご意見をいただきました。それらを参考にしつつ工夫を重ねた結果をこの『いとなみ』（48集）にまとめました。お目通しください、お気づきの点などご意見をいただければ幸いです。

平成22年1月

和歌山大学教育学部附属中学校  
校長 柏原 卓